



理工学部の学生国際交流組織「STEPs」による マレーシアでの海外研修の学長報告会

【概要】

理工学部長表彰を授与された成績優秀者で構成される国際交流組織「STEPs」の学生が、令和4年11月19日～24日にマレーシア日本国際工科院(MJIIT)などで実施した海外研修の学長報告会を令和5年2月28日に行いました。

【本文】

佐賀大学理工学部の学部長賞受賞者から構成される学生組織「STEPs」は、令和5年2月28日(火)に佐賀大学本部棟にて令和4年11月19日(土)～24日(木)に実施したマレーシア研修について学長及び理事に報告を行いました。

報告会には、兒玉 浩明 学長、渡 孝則 理事、山下 宗利 理事、寺本 憲功 理事、松永 貴光 事務長、研修に参加した7名のSTEPsメンバー、引率の豊田 一彦 理工学部長・教授、カーン・タウヒドウルイスラム 准教授及び船石 亮太 事務員が参加しました。

同報告会では、STEPs 代表の末廣 誠也さん(電気エネルギー工学コース4年生)が説明を行い、訪問したマレーシア工科大学(UTM)のマレーシア日本国際工科院(MJIIT)での体験やマレーシアの文化など、マレーシアで学習し、習得したことを報告しました。報告後は、出席したSTEPsメンバー一同が英語で自己紹介を行い、懇談を行いました。懇談会では、兒玉学長からマレーシアと日本の授業の違いについて質問され、マレーシアの大学では英語での授業が一般的であるといったことが話題に上りました。また、渡理事からはSTEPs 設立に至った経緯について話があり、世界的な共通言語として英語の習得が重要であることがSTEPsの学生らに伝えられました。寺本理事からはインドやマレーシアに渡航した際の体験談がありました。

この数年、コロナ禍により海外訪問が困難でしたが、今回海外訪問が再開し、今後ますます活発になることが予想されます。海外との文化交流を促進するために、STEPsではEnglish Timeの実施や留学生との交流などで英語力強化を図っています。これらの活動による英語力の向上の成果はTOEICの点数にも表れています。

最後に兒玉学長からSTEPsへの激励があり、その後、学長室で写真撮影が行われました。



STEPsの海外研修についての学長報告会の記念写真